



御染師 老舗加賀屋さんの豆經本

## (十二) 懷中御守銅版法華經

市内八幡町の老舗加賀屋さんは代々菊池小八を襲名する南部藩御染師の家柄で、現当主菊池弘氏は、宝歴年中加賀から盛岡に移ったときから九代目で約三百五十年になります。

時の藩主は第二十四代南部利雄公で、従五位に叙され信濃守を任じています。元文五年十一月二十九日加賀宰相前田吉徳公の女を娶って夫人とされました。宝歴五年五月江戸から盛岡に移り帰って来たのですが、この加賀藩主の御姫様が御輿入れの頃に相前後して御染師の菊池小八家も加賀国より盛岡に入ったのです。過去帖には明和八年以降の記帖が見えます。

又、幕末期の文久二壬戌年九月改、盛岡藩の御用人一両式人扶持で、八幡町御染師菊池小八の名が記録に見えます。

### 懷中御守經銅版法華經

この豆經本は全八卷二十八品六万九千八百八拾四字が極細字銅版印刷で写真の如くタバコと比見して極小形で、兜の頂に安置する程で一字一字はきれいに印字されており私など拡大鏡でしか見えない正に逸品でございます。寺院御宝前に奉持する大型經本と並べ全く小さく掌中の宝というものです。